令和6年能登半島地震
空撮による被害状況調査

巨大地変災害研究領域　地震津波複合災害研究部門　　内山 庄一郎　伊東 卓也　岡田 泰典

概要

■ 飛行高度400m、一眼レフカメラ（手持ち）、令和6年8月1日撮影

■ 災害デジタルアーカイブとして保存・活用

令和6年１月１日に発生した能登半島地震では、土砂崩れ、法面崩壊、建築物の損壊など多数の被害が発生し、地盤の隆起など地震のよる影響が広範囲で確認された。地上からのアクセスが難しい被害状況も含め、上空から俯瞰的に被害状況を撮影した。

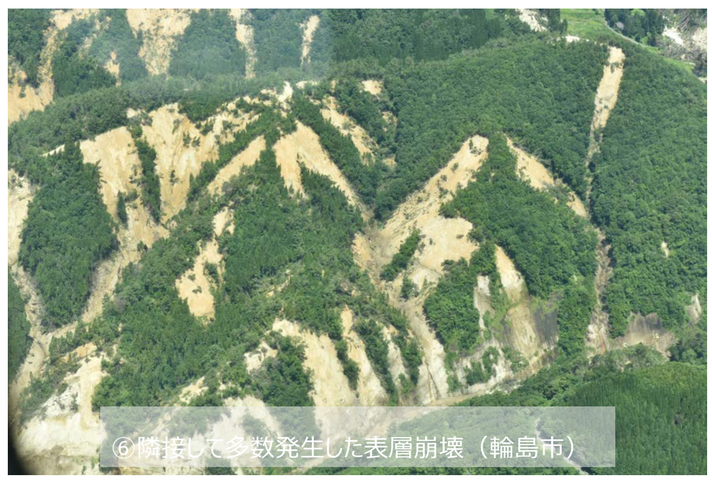
①地すべり（輪島市）

②表層崩壊による国道249号の復旧状況（珠洲市仁江町）

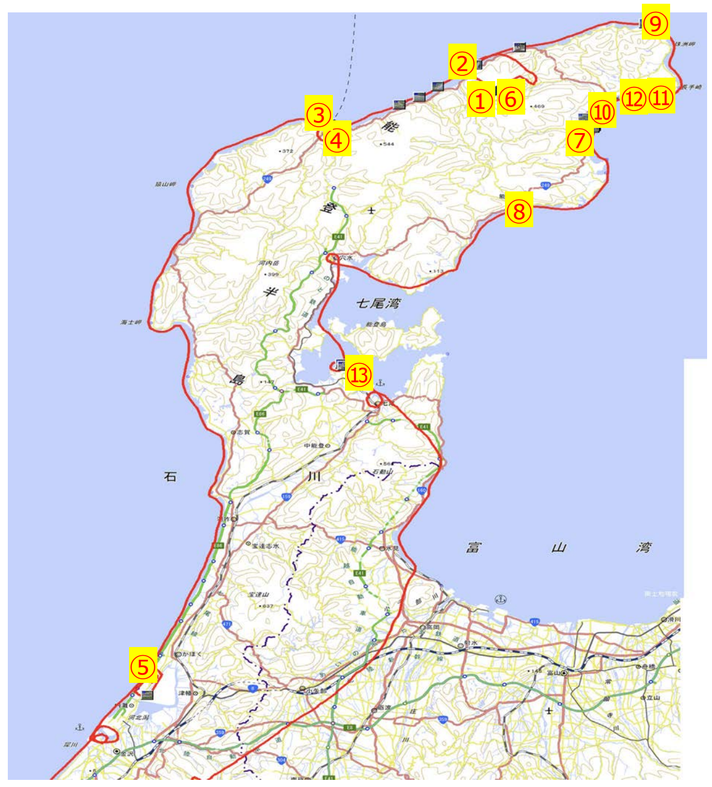
③中央に文化遺産の鴨ヶ浦塩水プール（輪島市）

④朝市の火災跡地（輪島市）

⑤液状化現象による大規模な地盤の変形と被害（内灘町）


⑥隣接して多数発生した表層崩壊（輪島市）

⑦津波被災地域の全景（珠洲市）

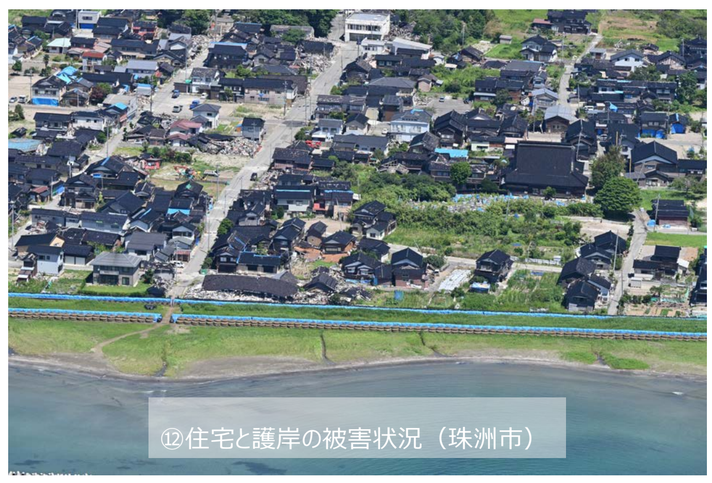


⑧災害廃棄物の集積場所（能登町）

⑨海底隆起の状況（珠洲市）

⑩揺れによる住宅の倒壊と津波被災地域（珠洲市）

⑪災害廃棄物の集積と応急仮設住宅、住宅被害（珠洲市）


⑫住宅と護岸の被害状況（珠洲市）

⑬和倉温泉の被害状況（七尾市）

生きる、を支える科学技術
防災科研 NIED
国立研究開発法人　防災科学技術研究所
〒305-0006　茨城県つくば市天王台3-1　Tel 029-851-1611　Fax 029-851-1622
https://www.bosai.go.jp